2024年度
八戸学院大学
地域経営学部 地域経営学科
総合型選抜 テーマ2

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かない。
- 2 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用する。
- 3 問題冊子に印刷不鮮明、ページの落丁などがあるときは、手を挙げて監督者に伝える。
- 4 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
- 5 問題冊子は持ち帰ってよい。

総務省より刊行されている『令和2年 情報通信白書』の中から、インターネット利用者の割合について都道府県別に見たのが以下の表である。この表には、スマートフォンを利用してインターネットを利用している割合が高い都道府県の上位と下位、さらには2021年における、それぞれの高齢化率が記載されている。この表を見て、以下の2つの問いに答えなさい。

上位 都道府県	インターネット利用者の割合(%)				高齢化率 (2021年)
	パソコン	携帯電話 (PHSを含む)	スマートフォン	タブレット型端末	
東京都	65.1	10.4	74.5	33.2	22.9
埼玉県	54.9	9.8	71.4	25.8	27.2
神奈川県	56.7	9.7	68.7	28.2	25.7
京都府	57.2	11.7	68.3	25.7	29.6
千葉県	59.3	10.9	68.3	24.6	27.9
下位 都道府県	インターネット利用者の割合(%)				高齢化率 (2021年)
	パソコン	携帯電話 (PHSを含む)	スマートフォン	タブレット型端末	
青森県	37.0	8.2	45.5	17.0	34.3
秋田県	39.5	8.8	47.7	17.7	38.1
高知県	41.9	9.0	51.7	17.4	35.9
長崎県	34.4	10.3	51.8	17.4	33.6
岩手県	32.2	7.0	52.1	15.1	34.2

出典：令和2年情報通信白書 第2部第2節(2)インターネットの利用状況に基づいて、都道府県別インターネット利用率及び機器別の利用状況(個人)(2019年)より作成し、上位と下位の都道府県をそれぞれ5つ抽出した。

高齢化率については、内閣府『令和4年版高齢社会白書』第1章 高齢化の状況(第1節4)より引用

問1.この表から、インターネット利用について、どのようなことが読み取れるか、300字以上400字以内で述べなさい。

問2.この表について、デジタルデバイド(情報格差)、防災という2つのキーワードを用いて、今後の地域の情報化社会はどうあるべきと考えるか、自身の考えを300字以上400字以内で述べなさい。